

リココ[®] SP錠

成分及び分量 (9錠中)

アセトアミノフェン	900 mg
ジヒドロコデインリン酸塩	24 mg
d,l-メチルエフェドリン塩酸塩	54 mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5 mg
無水カフェイン	90 mg
ベンフォチアミン	25 mg
リボフラビン	12 mg
ヘスペリジン	90 mg
添加物：乳糖、バレイショデンブン、セルロース、リン酸水素Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、CMC-Ca、タルク、ステアリン酸Mg	

用法及び用量

大人(15歳以上)	1回	3錠
11歳以上15歳未満	1回	2錠
5歳以上11歳未満	1回	1錠

1日3回 食後なるべく30分以内に服用して下さい。

* (1)用法・用量を厳守して下さい。

(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

(3)5歳未満の小児には服用させないで下さい。

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

保管及び取り扱い上の注意

- 服用に際しては、裏面の使用上の注意をよく読んで下さい。
- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- 誤用を避け、品質を保持するために、他の容器に入れ替えないで下さい。
- 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

お問い合わせ先

電話：06-6352-2381

受付時間：9時から17時まで(土、日、祝日を除く)



⚠《使用上の注意》



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人、本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人は服用しないで下さい。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 服用後は乗物等の運転をしないで下さい(眠気があらわれることがあります)。
- 服用時は飲酒しないで下さい。
- 長期連用しないで下さい。
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。



相談すること

- 次の人には服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 高齢者。

(4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。

(5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(6) 次の症状のある人。 高熱、排尿困難

(7) 次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

- 次の場合には、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 ふ	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	恶心・嘔吐、食欲不振	その 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合には直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあります)、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。)

ぜんそく

(2) 5~6回服用しても症状がよくならない場合。

- 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい。 便秘、口のかわき